

オープンアクセス¹

星空案内人資格認定制度ニュースレター No.76

発行：特定非営利活動法人星のソムリエ機構

発行日：2025年10月31日

目次

特集：星のソムリエ®シンポジウム in 与論島.....	2
日本一美しい星空を皆さんとともに！～与論島における星空保護の取り組み～	3
星のソムリエ café 掲示板より	6
第18回 星空案内人(星のソムリエ ®)シンポジウム最新情報.....	7
10月の機構の活動	7
(第27回)星のソムリエ何でも情報交換会(09月).....	7
理事会開催(2025年度第2回).....	8
投稿	9
空から降り注ぐオーロラに出会う旅（第1話）	9
お願い(投稿募集)	9
便利メモ	10
星のソムリエ機構への問い合わせや相談の受付	10
シンポジウムポスター	11
シンポジウムスポンサー募集	12

¹ 本ニュースレターは、クリエイティブ・コモンズ CC BY の下に提供されています。引用の際は「星空案内人資格認定制度ニュースレター」とその番号、署名記事の場合は著者名を明記してください。



特集：星のソムリエ®シンポジウム in 与論島



3日間の非日常・特別体験の旅へ ～星のソムリエ®シンポジウム in 与論島に期待すること～

井阪あゆみ(星のソムリエ機構理事・全国星のソムリエサポート代表)

——南の島で、星と、人と、つながる時間——

潮風の香り、透き通る海、そして夜空いっぱいの星たち。

鹿児島県・与論島は、南十字星が見える日本の最南端の地のひとつ。

そんな特別な空の下で、全国の星のソムリエ®たちが出会い、語り合うシンポジウムが開かれます。

与論島をよく知り、シンポジウム誘致活動の先頭に立っていた澤田幸輝さんは、熱く語ります。

「与論の星空は、天の川が他の星の光害になるほど、星が輝く場所。

そして、この夜空は心を解きほぐしてくれる場所。不思議な力があります。

この島で出会った人たちと星を見上げる時間は、きっと一生の宝物になります。」

今回は、現地の星のソムリエによる特別な星空案内も予定。

島の人々が大切にしてきた星の物語を、やわらかな南風とともに感じられます。

波音をBGMに見上げるきらめく星たちの美しさは、写真では伝わらない感動です。

そしてもうひとつの魅力は、全国の星のソムリエ同士が直接つながれること。

夜空を愛する仲間と語り、学び合い、笑い合う時間が、次の活動へのエネルギーになります。

遠くても行きたくなるのは、星が輝くだけでなく、人のつながりがきらめく場所だから。

「星の下で、仲間と語る忘れられない日常体験する…そんな幸せを、与論島で！」

さあ！一緒に与論に飛び立ちましょう！

日本一美しい星空を皆さんとともに！～与論島における星空保護の取り組み～

与論島 夜空のおさんぽガイドの会
文責：澤田 幸輝（書記・会計／シンポジウム LOC）

先月号の Newsletter では、鹿児島県与論島で星のソムリエシンポジウムを開催する意義と目的についてご紹介しました。機構メンバーと現地スタッフ（LOC）は、与論島での現地参加 200 人を目指して、日夜シンポジウムの準備に奮闘中です！

与論島では、2019 年度より、和歌山大学観光学部と連携して、星空を地域資源とした持続可能な観光地域づくりに着手してきました。その一環として、島内全体で星空環境を守る取り組みを続けています。与論島はサンゴ礁が隆起して形成されたことから、最高標高が 97.1m と平らな島です。そのため、島全体が宅地や畠などで開発されており、島のあちらこちらに人工照明が設置されています。

図 1 は、著者が初めて与論島を訪問した際に、高台から島西部を撮影した写真です。市街地からの人工光の跳ね返しで、雲が白く映っているのが分かります。また写真中央奥で特に明るく光っているのが、日本旅行のパッケージツアーで宿泊予定のプリシアリゾートの明かりです。著者がこの風景を初めて見たとき、「明るいな」というのが率直な感想でした。



図 1. 2019 年当時の与論島の夜景（撮影：尾久土正己）

そこで最初に着手したのが、島に設置されている防犯灯の改良です。与論島では、DarkSky International が実施する星空保護区⑥の認定基準に準拠し、電飾の色温度を 3000K 以下で、かつ上方光束 0（上向きの光漏れがない防犯灯）の防犯灯への改良を実施しました。2021 年に、島南部の観光施設「ザザンクロスセンター」を中心に、半径 500m

圈内の区域を「光害対策モデル地区」に指定し、56基の防犯灯を星空保護区®の認定基準に準拠したものに改良しました（図2）。現在は、濱田プレス工藝株式会社と連携し、同社が特注で製造する防犯灯の導入を進めています。濱田プレス工藝製の照明は、LED光源の粒状感をなくしたノングレアタイプ仕様で、取付け金具の直角仕様への変更で上方光束を完全遮蔽することができます（図3）。今年度中に、半数以上の防犯灯を光害対策型のものに改良する予定です。



図2. 与論島の光害対策モデル地区の様子（撮影：尾久土正己）



図3. 濱田プレス工藝製の防犯

こうした取り組みは、実際に目に見える形で成果が表れています。与論島では、夜空の明るさを定点的に計測する機器 Sky Quality Meter-LE を設置していますが、濱田プレス工藝製の防犯灯導入の前後で夜空の明るさを比較すると、改良後の方が島全体で夜空が暗く

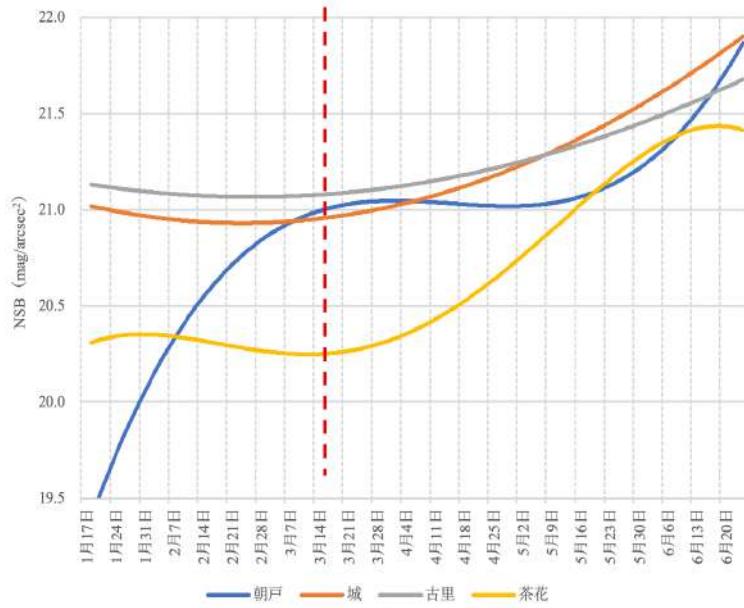


図4. Sky Quality Meter が計測した与論島における夜空の明るさの日毎の推移

※数値が大きいほど夜空が暗い（星空が見えやすい）ことを意味する。※濱田プレス工藝製の防犯灯に取り換えた3月17日を赤点線で示す。

ツケージツアーオン申し込みの上で、プリシアリゾートの取り組みを見ていただければと思っています。

図6は、2022年8月27日に「光害対策モデル地区」でSky Quality Meter-LE が計測した夜空の明るさの推移です。日没とともに夜空が暗くなっていますが、そこから22時30分頃を底にして緩やかに夜空が明るくなり、再び夜明け前まで夜空が暗くなっていることが分かります。

なっていることが分かりました（図4）。特に、防犯灯の改良を中心的に進めた朝戸地区と茶花地区で、夜空の質が飛躍的に向上しました。また与論島は、環境省が実施する2021年の「夏の星空観察」において、日本で最も暗い夜空（日本一の星空）であることが報告されました。

2019年当時は人工光が目立っていたプリシアリゾートですが、2021年に、与論町、ヨロン島観光協会、和歌山大学観光学部と4者協定を締結したことをきっかけに、ホテル全体で星空環境に配慮した色温度の低い照明やフットライトが設置されました

（図5）。本土から来島される皆様は、ぜひ日本旅行のパ



図5. プリシアリゾートに設置されている照明

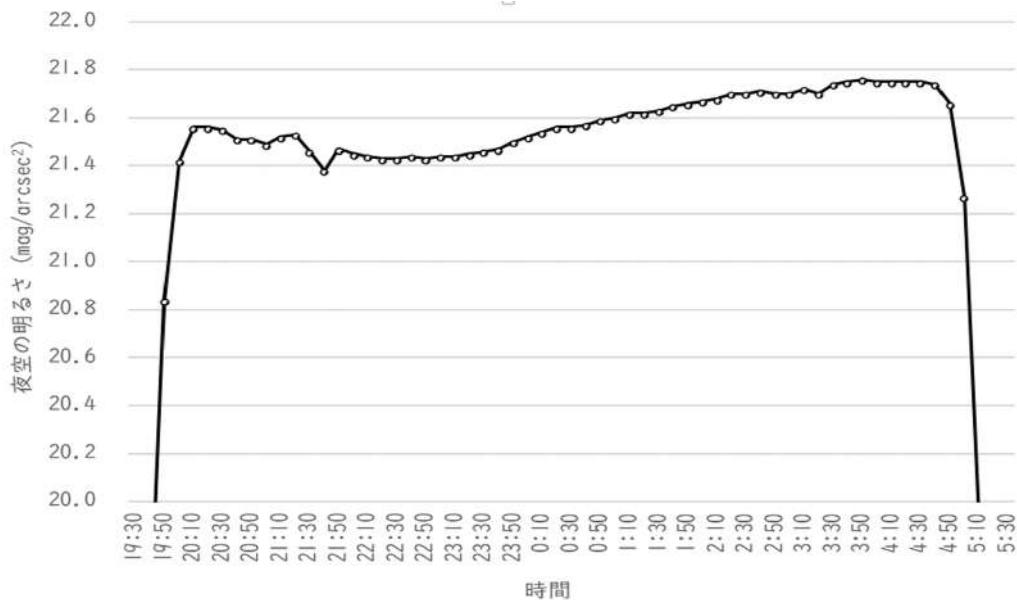


図 6. 光害対策モデル地区における夜空の明るさの推移

20時頃から緩やかに夜空が明るくなっている理由。それは天の川の影響です。与論島では、天の川が光害になるほど夜空が綺麗に見える環境にあるのです。
島全体で日本一の星空を守り続けている与論島。日本一の星空の下で、皆様のシンポジウムのご参加をお待ちしております。

お問合せ先：与論島 夜空のおさんぽガイドの会 澤田幸輝 (k-sawada@owjc.ac.jp)

星のソムリエ café 掲示板より

星のソムリエ機構公式「星のソムリエ cafe」では、メンバー同志が気軽に色々な情報を共有出来るメンバー限定のグループウェア・サークルスクエアがあります。このサークルスクエアにある掲示板は、特に色々な話題で全国のソムリエのみなさんをつなぐツールとして活用していきたいと思っています。

今月メンバーで盛り上がっているのが「レモン彗星 (C2025/A6)」について。全国のソムリエたちが見た感動を投稿したり、その成果をたたえ合ったり・・・といふ雰囲気です。これからも色々な情報を共有したり、少しマニアックになりがちな相談しにくいことなども、ぜひ思い切って書き込んでみてください。

星のソムリエ café は、全国の星のソムリエ®をつなぎ、星のソムリエ®のブランド価値を高めるために星のソムリエ機構が設立した会員制のグループです。全国の星のソムリエ®のコミュニティ発展の為に、資金面（入会金 1000円・年会費 2000円）で支えてくださるメンバーを随時募集しております。

入会記念に星のソムリエ café オリジナルピンバッジをもれなく差し上げております。

詳しくは「星空案内人資格認定制度」の HP をご覧いただくか QR コードよりアクセスして下さい。



第 18 回 星空案内人(星のソムリエ ®)シンポジウム最新情報

- シンポジウムの詳しいプログラムがホームページで公開されています。
- シンポジウムを支えてくださるスポンサー募集をしています。ホームページにて募集要項をけいさいしていますが、このニュースレターの資料のコーナーにも添付します。

日時 : 2026 年 3 月 14 日(土曜)(午後から)～16 日(月曜)(午前中まで)

会場 : 与論町砂美地来館 (さびちらかん) 現地とオンラインのハイブリッド開催
参加費 : 2,000 円(現地でもオンラインでも同額です)

主催 : 特定非営利活動法人 星のソムリエ機構

共催 : 与論町、(一社) ヨロン島観光協会、与論島夜空のおさんぽガイドの会

シンポジウムホームページを開設しております。情報はホームページにて随時更新いたします。<https://star-sommelier.org/symp18/>



10 月の機構の活動

(第 27 回)星のソムリエ何でも情報交換会(09 月)

星のソムリエ何でも情報交換会(09 月)

日時 2025 年 10 月 7 日水曜 20:00-21:35、 場所 Googlemeet 会議、 参加 : 12 名

今回は、星空を資源にした地域活性化や観光開発についてを中心として情報交換しました。

情報提供 :

気仙沼市での過去五年間お取り組みと成果について

三浦 飛未来(インター宇宙レーション)

星空を資源とした地域活性化の連絡会の提案

柴田 晋平(星のソムリエ機構)
参加者の近況紹介、情報交換をしました。

参加者からの感想

☆三浦さんのエネルギーのある活動のお話には、とても学びが多く、刺激もいただきました。三浦さんが地域や行政などあらゆる方面から必要とされていることが感じられ、そのような方が星のソムリエを積極的に名乗ることが、星のソムリエのブランド力を向上させているのだろうなと思いました。

星のソムリエという自由でゆるやかに繋がれる場で、このような情報交換に参加できることは、個人で活動している身にとっては大変貴重でありがたいことです。私も、星のソムリエを積極的に名乗ることで、少しでも貢献できるのかな、と考えさせられました。ありがとうございました。

光澤安衣子(海星研,うみほしラボ)

☆気仙沼での三浦さんの活動を具体的にお伺いできて、大変感動いたしました。関東と気仙沼市を往復しながらの活動はとても大変とのこと、そのような中でも精力的に楽しく活動されているのを感じました。周りの方の協力を得ていく方法や、市の観光課・ホテルなどへのアプローチなども質問に答えていただいてとても参考になりました。またお話をお聞かせいただけたら嬉しく思います。

地域活性化の連絡会の提案のお話では、あえて別に連絡会を立ち上げる以前に私としては、「星のソムリエ」という名前と機構の後ろ盾のはもちろんのこと、情報交換会でお目に係れる皆さんとの交流で学んだり、お話を聞けることで、同じ「星のソムリエ」の名のもとにあちこちで様々な活動をされていると感じることがすでに大きな力になっています。

八尋綾乃(福岡県)

理事会開催(2025年度第2回)

日時：2025.10.14 火曜 21:00-22:00

場所：法人事務所およびバーチャルオフィス会議室のハイブリッド開催

議事：

- 各事業グループのこの間の活動報告
- 新入会員の報告
- 会員名刺の作成について
- 「オフィシャルショップ」を「公認ショップ」とする名称変更
- その他

投稿

空から降り注ぐオーロラに出会う旅（第1話）

井阪あゆみ（星のソムリエ機構理事・ちはや星と自然のミュージアム解説員）

2025年9月18日～24日、星のソムリエ®の仲間・家族とともにカナダへ行ってきました。今回の旅行の一番の目的は「オーロラを見る」こと。

オーロラを観察できる場所は色々あるので、どこで観察するか悩みましたが、以前に一度訪れて星空の綺麗さと治安の良さなどで大好きになったカナディアンロッキーを再訪したかったこともあります。カナディアンロッキーとイエローナイフを目的地とすることにしました。イエローナイフでオーロラを見ると決め、次に「どんなロケーションでオーロラを見るか」について色々悩みました。そこで、カナディアンロッキーでガイドをしている田中こういちさん（以下通称ロッキーさん）<https://tanacanada.com/>に相談したところ、「カナダ行きの飛行機をおさえる前に、イエローナイフのガイドを押さえるべき！」との強いアドバイス。イエローナイフでオーロラハンターして知られる大塚佳文さん<https://aurora-guide.com/>を紹介していただきました。

この時が2024年11月。

まだ時期すら明確に決めていなかった私たちですが、旅行時期を含めて色々教えていただこうとすぐに連絡を取ってみました。すると、「オススメは4月か9月です」との返答。極寒のなか防寒着に身をつつみ、凍えながら鑑賞するものと思っていた私の固定概念は根底からひっくり返されました。そして、仲間とも相談のうえ、9月の新月期に予約をすることに。しかし、まだ10か月先にも関わらず、希望していた9月21日はすでに予約がいっぱいとのこと。そのため、イエローナイフ滞在1日目は、他社ツアーを利用することにいて、22日・23日の二晩を大塚さんのガイドツアーでお願いすることになりました。

（次号に続く）



今回一緒に旅した仲間たち:左より
星のソムリエ講座@大阪8期 隠地賢美さん
星のソムリエ講座@大阪2期 井阪あゆみ
星のソムリエ講座@大阪6期 鳥居有佳子さん
井阪あゆみの夫・井阪晃貴

お願い(投稿募集)

皆様からの投稿をお願いします。近況報告や星空案内ネタ、短い随筆、俳句、短歌、写真、長くても構いません。報告書、研究結果などなんでも結構です。毎月月末発行ですので、そ

の1週間前くらいまでにいただければ嬉しいです。

(編集担当；柴田)

便利メモ

星のソムリエ機構への問い合わせや相談の受付

問い合わせや相談の総合受付を設けております。どうぞご利用ください。

<https://star-sommelier.org/helpdesk/>



シンポジウムポスター

3日間の非日常・特別体験

星のソムリエ® シンポジウム2026

IN 与論島

エクスカーション
浜辺の星空体験

波音と共に聞く星の物語は
一生モノの体験に。

2026年3月14日(土)~16日(月)

星ソム・フェスエリア
登場！

星を語りながら
お腹も心も満たさう♪

非日常のロケーションで
全国の仲間と

奇跡のような出会いが
ここに集う。

会場：与論島砂美地来館

〒891-9301
鹿児島県大島郡与論町茶花2045

日本各地の星のソムリエ®が南の島・与論に集結！

発表はもちろんのこと

体験型×フェス型の新しいシンポジウムへ！

旅行パッケージ：日本旅行より

飛行機・移動・ホテル込みの特別ツアーも登場！

最新情報・耳寄り情報は
こちらをチェック！➡



機構ロゴ：福島茂良

主催：特定非営利活動法人 星のソムリエ機構
共催：与論町・（一社）ヨロン島観光協会・与論島夜空のおさんぽガイドの会
協力：日本旅行

シンポジウムスポンサー募集

スポンサー募集
「星のソムリエ®」シンポジウム開催を
サポートしてくださるスポンサーを募集しています。



全国の星のソムリエが集う
「第18回星空案内人
(星のソムリエ®)シンポジウム」
を与論島にて開催！
開催日：2025年3月14-16日

← シンポジウムHP <https://star-sommelier.org/symp18/>
与論島 <https://www.yorontou.info/feature/17872.html> →

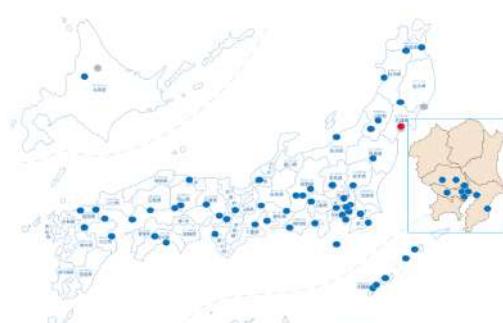




星空案内人(星のソムリエ®)シンポジウムは、2007年以来毎年開催されている星空案内に関する最大規模の全国シンポジウムです。星空を愛する文化を広め、また、科学への理解増進する活動として、宇宙をテーマに幅広く活動する星空案内人「星のソムリエ」が全国から集まります。活動の成果を報告し、今後の活動を促進を図るシンポジウムです。

主催者である特定非営利活動法人星のソムリエ機構は星のソムリエ®のための学習課程を創設し星空案内人資格認定制度を運営しています。現在、本制度を利用する団体は50カ所あまりあり、約8000人の「星のソムリエ」が全国で活動しています。今年は遠隔地開催で運営経費についてはぜひ資金のサポートをお願いします。詳細裏面

星空案内人資格認定制度を実施している団体



2025年9月15日現在

認定数	星空案内人	準案内人	合計
合計	1589	6981	8507



ショッピングセンターで星空観察会(上下)

郡山駅前で星空観察(上)
望遠鏡づくりのワークショップ(震災被災地で)(下)



星空案内グッズの表彰式



スポンサー区分と特典

プラン	特別協賛または 共催(※) 70,000円	協賛 20,000 円	展示ブース協賛 25,000円	展示ブース出展 7,000円	個人寄付 一口1000 円より
1. 優秀発表賞の授与者として参加	○				
2. プログラム、ウェブサイト、開催案内メールにスポンサー名とロゴを広告掲します。	○	○	○		
3. 提供配布物を受付にて参加者に提供	○ (希望がある場合)	○ (希望がある場合)	○ (希望がある場合)		
4. 会場にて展示ブース設置	○ (希望がある場合)		○	○	
5. 参加費免除	3名様まで	2名様まで	2名様まで	2名様まで	なし

ご提供内容の説明 :

1. シンポジウムでは参加者からの投票で「最優秀発表賞」を授与しています。その中で、スポンサー名の入った表彰状およびご提供いただいた副賞を贈呈いたします。表彰式はYouTubeにて配信予定です。
2. シンポジウムプログラム、ウェブサイト、参加者募集要項等にスポンサー名、スポンサーロゴを掲載します。広報の件数およそ1万件です。
3. ご希望があれば、受付にてご提供のパンフレット等を参加者に配布します。
4. 会場にてスポンサーの製品等展示販売ができます。広さは、展示パネル 1800 mm × 816 mm 長机 1800 mm × 450 mm を準備致しております。他にご要望があれば申し出ください。
5. シンポジウム当日の参加費の免除があります。
6. 個人寄付は直接下記メールアドレスにご連絡をお願い申し上げます。

※ 特別協賛と共に同じ内容です。今回は会場の都合により営利企業は共催の名前がつかえないため特別協賛という名前になっています。

スポンサー申し込みは以下のメールアドレスにお願い申し上げます。

kiko@star-sommelier.org

特定非営利活動法人星のソムリエ機構

代表理事

柴田 晋平

シンポジウムについての詳しい情報はこちら



← シンポジウムHP <https://star-sommelier.org/symp18/>
与論島 <https://www.yorontou.info/feature/17872.html> →

